

平成29年6月

## 仕事の原点は親孝行にあり

古田土会計では新入社員は初めての給与で両親にプレゼントし、お礼の挨拶をすることを強制しています。交通費は会社が支給し、親孝行したことを証明するため、プレゼントしている姿を写真に撮って会社に提出させています。お礼の挨拶は、「これは会社からの業務命令です」と親に言い、両親の前に正座して「22年、育てて頂きありがとうございます。社会人になって初めて給与を頂くことができました。ささやかですが、親孝行の形として、お父さんには〇〇を、お母さんには〇〇をプレゼントさせていただきます。今後とも親孝行を続けてまいりますので、どうぞ宜しくお願いします。」と口上まで教える、会社で練習もします。直接親に話すことが大切なのです。それによって両親の心を知り、人に感謝すること、人に喜ばれることが自分に与える最大の幸せであることを知ります。ここで大事なことは、①親孝行レポートを書かせ、この時の気持ちを文書で表現させること、②親のために一生懸命努力した結果、親が自分が思った以上に喜んでくれて、その喜んでくれた姿を見て、自分もうれしくなり、感動したことを確認すること、すなわち、人様に喜ばれることが、実は自分の喜びであることを気づかせてあげることです。仕事の原点は親孝行にあります。社長や上司、先輩の仕事は、生活のためや家族のためだけにあるのではなく、どうしたらもっとお客様に喜ばれるか、感謝されるか、一生懸命努力、提案すること、これは親へのプレゼントを孝えることと同じであること、この結果、親に喜ばれて、自分もうれしくなり、感動したのと同様に、お客様にも喜ばれ、感謝され、仕事かたんだん面白くなり、いつのまにか成長していると教えることで、新入社員の感想文を紹介し、「謝辞の手順にのっとって親孝行をしたところ、母は涙ぐんで聞いてくれました。その姿を見て私も少し涙ぐんでしまいました。両親は『こんな風に親孝行してるさ、といつかくれる会社に入れてよかったね』と言っており、私も本当にそう思います。『22年間、育ててくれてありがとうございます』という言葉が下さるありがとうございます。両親に喜んでくれることは、とても嬉しいことでした。人に喜んでくれる経験をたくさんするために働けることに幸せを感じます。」某大手銀行員に「何のために働くか質問された30代の男子社員は「家族のため」と言い、若い女子社員は「生活のため」と答えました。私はこの会社は、会社のための教育はするが、社員が幸せになるための人間教育はしていない」と思いました。会社が社員も大切にしたい社員は自分のためだけに働きます。社員教育で大事なことは会社が儲けるための教育ではなく、社員が幸せになる人間性教育であると確信しております。そのため、社員に愛社精神を持つてもらうことが必要です。愛社精神はその人の資質ではなく、教育により養われます。社員が自分のためだけに働くから、会社のため、仲間のため、お客様のために、また会社の経営理念を実現するために働くということが、自分の幸せになるということも社員に教える、気づかせることが教育です。もし社員が「私の働く目的は、会社の経営理念にほれ込んだからです。私の夢は、社長と一緒にこの経営理念を実現することです。」とお客様の前や、社員の前で堂々と語り実践している社員が多い会社が社員教育のいい会社ではないでしょうか。

古田土 満